

平成 19 年度短期大学部環境緑地学科緑化企業実習 実習報告書

短期大学部・環境緑地学科

実習先 すみれば自然庭園

実習期間 11月7日、10日、21日、28日、12月5日

実習内容

11月7日(水) 晴れ

8:50 自己紹介
8:55 ネイチャーセンターの掃除
9:15 園内見学
10:40 実習の目的・ガイダンスを受ける
11:30 展示物の作成
12:00 休憩
13:00 展示物の作成の続き
15:00 終了

11月10日(土) 雨

8:50 ネイチャーセンターの掃除
9:00 展示物の作成
12:00 休憩
13:00 窓拭き・セロテープはがし
13:40 インタープリター研修の話し合い
15:30 終了

11月21日(水) 曇り

8:50 ネイチャーセンターの掃除
9:00 園内調査
10:30 展示物の作成
12:00 休憩
13:00 展示物の作成の続き
14:30 草刈り
15:10 終了

11月28日(水) 曇り

8:50 ネイチャーセンターの掃除
9:00 展示物の作成
12:00 休憩
13:00 展示物の作成の続き
14:00 窓拭き
15:00 終了

12月5日(水) 曇り

8:50 ネイチャーセンターの掃除

9 : 0 0	園内調査
1 0 : 3 0	展示物の作成
1 2 : 0 0	休憩
1 3 : 0 0	展示物の作成の続き
1 4 : 0 0	園内の落ち葉掃き
1 5 : 0 0	終了

実習効果と感想：

5日間の実習は、とても短く感じられた。私は、興味・関心はあるのだが、植物や野鳥に関する知識が多くないので、社会の中で通用するか、役に立つことができるのか、最初はすごく不安に思っていた。しかし、担当のインタープリターの方が、優しく丁寧に教えてくださったので、楽しく勉強することが出来た。

実習ではたくさんの方が学べたと思う。多くの人に「自然」を知ってもらうために、わかりやすい絵を描いて作った展示物や、子どもたちに興味を持ってもらうよう、ドングリでクッキーをつくるイベントや親子でクリスマスをつくるイベントを開催するなど、「自然」は面白いということを学べる場所を提供していくのがインタープリターの大切な仕事だと思った。

そして、欠かせないのが近隣住民のボランティアさんの協力である。土曜日などの休日は、ボランティアの皆さんが来園者の対応を行い、草刈り、ロープ柵の補修、イベントの補佐など、身近にある貴重な「自然」を住民で守っていこうとしているのがわかった。パソコンでお互いに情報交換をこまめに行い、インタープリターとの話し合いの機会も設けられている。私もその話し合いに出席させてもらったが、樹木の名前が覚えられなくて、来園者に樹木を尋ねられても、名前がすぐに出て来ないだとか、人が転びやすく急な段になっている場所に階段を設けたらどうだろうなど、参考になる意見がたくさん出てきてすごく勉強になった。皆さんが、愛情を持って真剣に「自然」に接しているのがわかった。これから、私もそういう気持ちで向き合っていきたいと思った。

近隣の住民の皆さんと協力しながら、チームになって今あるものを壊さず、「自然」の大切さを、伝えていくインタープリターのお仕事は素晴らしいと思った。

最後に、実習でお世話になったインタープリターの武井さん、近隣住民のボランティアさん5日間たくさんの方を教えてくださいありがとうございました。

